

計画事業番号	00269	事務事業名	図書館サービス提供事業	担当部署	教育部文化課	電話	373-7667
--------	-------	-------	-------------	------	--------	----	----------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	図書館法・北広島市図書館条例・同施行規則			
事務事業開始年度	平成10年度		個別計画等	北広島市図書館資料充実プラン 北広島市子どもの読書活動推進計画(第2次)			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 6 節) 読書活動の充実	
	(施策 1 ) 図書館サービスの充実	
2 対象	市民及び近隣市町村住民	
3 目的と内容	(1)図書館サービスの根幹である図書、記録、郷土資料、視聴覚資料などの収集を図書館資料充実プランに基づき進めていく。 (2)情報検索データベースを利用したレファレンスサービスなど、質の高い図書館サービスを提供していく。 (3)高齢者や障がい者で図書館に来館が困難な市民を対象に、宅配サービスを提供し、読書推進を図っていく。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	(1)図書、郷土資料、視聴覚資料などの計画的収集と提供(貸出・リクエスト予約や相談業務・相互貸借など) 前年度より4,837冊の増加 平成27年度末蔵書数 334,584冊 (内訳:市図書館260,899冊、大曲分館31,942冊、西の里公民館11,112冊、西部小分室20,530冊、住民センター10,101冊) (2)高齢者等図書宅配サービス「タやけ便」の継続実施
	29年度	昨年度と同様に、市民の利用ニーズにあった資料の収集と提供などを行っていく。 (1)図書、記録、郷土資料、視聴覚資料などの計画的収集と提供 全体で10,000冊程度の新刊本の購入を見込む (2)高齢者等図書宅配サービス「タやけ便」の継続実施

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
図書館資料の購入 情報検索データベース の活用	図書館資料の購入(9,571冊)情報検索データベースの活用	図書館資料の購入 情報検索データベース の活用	図書館資料の購入 情報検索データベース の活用	図書館資料の購入 情報検索データベース の活用	図書館資料の購入 情報検索データベース の活用	図書館資料の購入 情報検索データベース の活用	図書館資料の購入 情報検索データベース の活用
高齢者等の宅配サービスの 実施	高齢者等の宅配サービス の実施(個人利用 4名 104回 592冊、施設利用 1施設 12回 376冊)	高齢者等の宅配サービスの 実施	高齢者等の宅配サービスの 実施	高齢者等の宅配サービスの 実施	高齢者等の宅配サービスの 実施	高齢者等の宅配サービスの 実施	高齢者等の宅配サービスの 実施
光ステーションの活用							

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	新刊やリクエストなど安定した資料購入により高い利用率を維持しており、継続が求められている。今後も生涯学習の拠点施設として、幅広い市民要求に応えていくことが必要である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			21,007		20,834		22,050		22,050	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	3,200		3,000		0		0	
		一般財源	17,807		17,834		22,050		22,050	
	① 合計	21,007		20,834		22,050		22,050		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	10,080	0	10,080	0	10,080	0	10,080	0	
総事業費①+④			31,087		30,914		32,130		32,130	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①年間増加冊数	目標値	冊	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績値		9,571			
	②年間貸出冊数	目標値	冊	500,000	500,000	500,000	500,000
		実績値		494,922			
③年間予約冊数	目標値	冊	50,000	50,000	50,000	50,000	
	実績値		61,859				
④	目標値						
	実績値						
成果指標	①市民一人あたり年間貸出冊数 (年間貸出冊数÷市の人口)	目標値	冊	9.0	9.0	9.0	9.0
		実績値		8.4			
	②予約処理回答率 (年間処理済件数÷年間予約冊数)	目標値	%	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値		94.9					
③	目標値						
	実績値						
【指標の定義(算式等)】							

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	・公立図書館は、図書館法により利用に対する対価を徴収してはならないと定められているため、税による負担は妥当である。 ・図書館は、生涯学習の拠点施設として重要な役割を担っており、市民誰もが利用できるよう開放されている。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	・資料の収集はもとより、データベースを活用した市民への情報提供など質の高いサービスを行っている。 ・年間貸出冊数は、全国的にも高い水準を維持している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	・情報の拠点施設として、出版を含めた情報収集に努めていくことが必要である。図書館に直接来館できない方など、より多くの方が利用できる効果的な方法やPRなど検討していく。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	・施設設備の更新時に合わせた効果的な改修を行うことにより、運営コストの削減につながるよう計画を検討する。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	--

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--